

風

かぜ

カゼ 2006.3-17 No.91

◇自力も他力

かなり以前になりますが、NHKの3CHの宗教の時間で石川県の館正之さんというお同行がお仲間と浄土真宗の教えの要であります「他力」について語らうテープが放映されたことがありました。

私達は生きています。正確に言えば生かされて生きています。心臓の鼓動は私の計らいを遙かに超えて働いています。他力そのものです。見ること、歩くことも一見自力行為と思いますが自力ではありません。年をとるとそれが実感できます。滝に打たれる荒行も荒行を支える体力、精神力等を考えると自力ではあり得ません。表面の事象が自力色で覆われているだけの理との由でした。

他力（お念仏）を感じ、それに応えての生活を過ごさせていたきたいと、念ずるばかりです。

◇安楽寺東側墓地のその後

去年の6月・8月に「風」を通して隣地の旧ビル跡地のビル新築に伴う工事現況と安楽寺墓地への影響を懸念してお知らせを記しましたが、お蔭さまでビル解体・新築業者・石材業者の尽力もあり、結果としては事なきを得ました。寺としては一安心しています。現在タワークレーンが設置され、足場も3層となりました。竣工は来年3月とのこと。その間も注意して見守りたいと思っています。

◇今月の安楽寺伝道揭示板

道に迷うと 止まるがいい

止まって元に戻るといい

道に迷うと 聴くがいい

そのまま行くと なお迷う